

初開催 郷土芸能発表会



1 葛巻神楽保存会による若さあふれる華麗な鶏舞 2 五日市小と江刈中の児童生徒も加わり伝承に取り組み車門念仏剣舞 3 勇壮な太鼓と躍動感あふれる舞を披露した小屋瀬さんさ踊り 4 美しい三味線の音色を響かせた葛巻幸山会

町郷土芸能団体連絡協議会（遠藤勝広会長、加盟13団体）主催の町郷土芸能発表会は1月31日、葛巻小学校体育館で初めて開催されました。7団体が一同に会して華やかな舞や民謡を披露し、約250人の観衆を魅了しました。

幅広い年代が出演し 郷土の伝統芸能を熱演

この発表会は、郷土芸能の継承と振興、町民に伝統芸能に対する理解を広めようと開催されました。開会行事で遠藤会長は「今回のような発表の機会をより多く設け、継承活動に一生懸命に取り組み、若い世代にパトナタッチできるような努力していきたい」とあいさつ。

鈴木重男町長は「今年葛巻町60周年の節目の年。それぞれの地域に伝わる伝統文化を次の時代にしっかりつないでいく年にしていこう」と祝辞を述べました。発表会は、元木神楽保存会による「虎の口」で幕が開けられ、子どもから大人まで幅広い年代が出演。脈々と受け継がれてきた郷土色豊かな舞や歌が披露されました。神楽やさんさ、剣舞、民謡と各団体が継承されている演目は異なりますが、どれも舞や音色をそのまま伝え、子どもたちが加わり担い手として伸び伸びと演舞する姿も見受けられるなど、観衆は改めて葛巻の伝統や文化の素晴らしさを実感した様子でした。



5 6



7

5 小屋瀬中の生徒が伝承に取り組み元木神楽 6 子どもから大人まで幅広い年代が出演した葛巻ナニヤドヤラ 7 こぶしがきいた歌声を披露した江刈民謡愛好会

葛巻町郷土芸能団体連絡協議会

郷土芸能の保存と振興、後継者の育成、伝統芸能への理解と文化財愛護思想の普及を目的に平成25年2月設立。

■加盟団体 ※（）内は代表者(敬称略)

- 1 葛巻神楽保存会（遠藤 勝広）
- 2 葛巻さんさ踊り保存会（吉澤 誠志）
- 3 葛巻七ツ物保存会（菅野 猛）
- 4 茶屋場えんぶり保存会（東 春三）
- 5 畑神楽保存会（橘 隆）

- 6 小田念仏剣舞保存会（上野 正）
 - 7 下冬部七ツ物保存会（坂本 清身）
 - 8 元木神楽保存会（土谷 育造）
 - 9 小屋瀬さんさ踊り保存会（藤岡 慶司）
 - 10 ナニヤドヤラ葛巻愛好会（遠藤 勝広）
 - 11 車門念仏剣舞保存会（本宮 正志）
 - 12 江刈民謡愛好会（下道 和身）
 - 13 葛巻幸山会（漆久保 福男）
- 【事務局】教育委員会 ☎66-2111 内線275



1 会員ら95人が参加した総会であいさつする鈴木町長 2 くずまきワインで乾杯し懇親会がスタート 3 総会であいさつする落宰会長 4 特別ゲストの清&絢子が「どんと来い！岩手パートII」などを熱唱し懇親会を盛り上げた

第24回 葛巻ふるさと会総会

葛巻ふるさと会（落宰房夫会長、会員330人）の第24回総会は2月8日、東京都文京区の東京ガーデンパレスで開催され、参加した会員ら95人が懐かしい思い出話に花を咲かせました。

総会で落宰会長は「少しずつ会員が増え、若返ってきている。町としてしっかり連携をとりながら、さらに魅力ある会にしていきたい」とあいさつ。葛巻高校の山村留学制度の支援やふるさと納税のさらなる推進を呼び掛けました。この後、提案された議案は満場一致で承認。役員改選も行われ、平成27年度の新体制が決まりました。鈴木重男町長は「町は、早い時期から人口減少対策に取り組んできました。今後さらに若い世代を増やしていかなければならない。葛巻高校の存続も含め、今後も皆さまのご支援をいただきたい」とあいさつしました。

総会終了後に行われた懇親会は、くずまきワインで乾杯が行われ、山ぶどうの香りに参加者は、ふるさと・葛巻に思いをはせました。

この日は、希望郷いわて文化大使の「清&絢子」の歌謡ショーが行われ、懇親会を盛り上げました。

- 新役員（平成27、28年度、敬称略）
- ▽顧問 佐々木由三、西村専次
- ▽会長 落宰房夫
- ▽副会長 五老辰雄、阿部勝彦
- ▽幹事長 森邦弘（新任）
- ▽幹事 抱石定雄、寺岡俊雄、遠藤美樹、後藤静子、佐々木美帆、吉澤靖博、幅弘
- ▽会計 篁範子
- ▽監事 林久信



〔5〕平成27年3月1日・広報くずまき

広報くずまき・平成27年3月1日〔4〕